

# 平成29年度決算の概要

一般会計を中心に概要をお知らせします。

平成29年度は、本格的工事に入った水木しげるロードリニューアル事業のほか、新たな3歳未満児の保育施設整備に対する助成や県内初の一般不妊治療への助成を行うなど、地域の活性化や安心して暮らせるまちづくりに向けた行政サービスの充実に取り組みました。

一般会計は、歳入から歳出を差し引いた額が1億7,906万円の黒字、そこから翌年度に繰り越すべき財源7,862万円を除いた実質的な黒字額が1億44万円となりました。

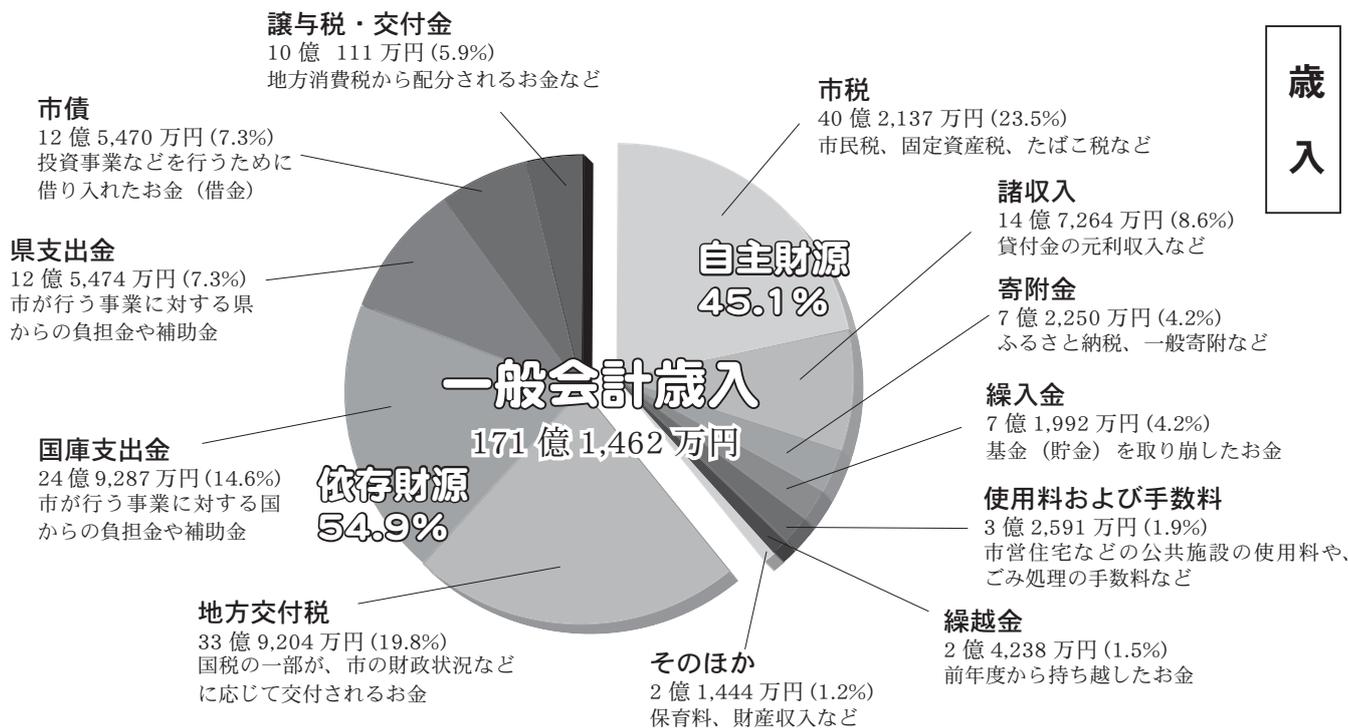
また、市債（借金）残高は、124億円と前年度比では約1億円の減となっており、臨時財政対策債を除く実質的な市債残高は、ピーク時の4割未満に減少するなど、「自立・持続可能な財政基盤の確立」への取り組みの成果が表れたものとなっています。

特別会計については、左ページの表のとおりです。

▶問い合わせ先  
財政課財政係  
(☎47-1012)

## ※臨時財政対策債とは…

地方交付税の交付原資の不足に伴い、地方交付税に代わる一般財源として、特例的に発行が認められている市債。市債発行に伴う元利償還金の全額が後年度の地方交付税に算入されます。



区 分		29年度決算額	28年度決算額	伸び率
自主財源	市 税	40億2,137万円	39億2,231万円	2.5%
	諸 収 入	14億7,264万円	15億1,750万円	▲3.0%
	寄 附 金	7億2,250万円	4億5,423万円	59.1%
	繰 入 金	7億1,992万円	3億9,769万円	81.0%
	使用料および手数料	3億2,591万円	3億4,184万円	▲4.7%
	繰 越 金	2億4,238万円	3億6,983万円	▲34.5%
	分担金および負担金	1億9,026万円	1億8,656万円	2.0%
	財 産 収 入	2,418万円	2,173万円	11.3%
計	77億1,916万円	72億1,169万円	7.0%	
依存財源	地 方 交 付 税	33億9,204万円	35億5,081万円	▲4.5%
	国 庫 支 出 金	24億9,287万円	25億6,790万円	▲2.9%
	県 支 出 金	12億5,474万円	11億429万円	13.6%
	市 債	12億5,470万円	10億6,690万円	17.6%
	譲与税・交付金	10億111万円	9億4,271万円	6.2%
計	93億9,546万円	92億3,261万円	1.8%	
合 計	171億1,462万円	164億4,430万円	4.1%	

## 一般会計歳入の状況

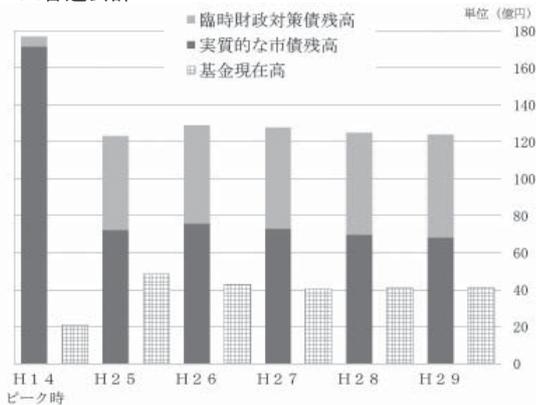
歳入総額は171億1,462万円で、前年度より6億7,032万円(4.1%)の増となりました。

うち自主財源は、ふるさと納税による寄附金に加え、基金の繰入金が増加したことにより、前年度比5億747万円(7.0%)の増となりました。

また依存財源は、地方交付税の減があったものの、水木しげるロードリニューアル事業に伴う市債借入の増等により、前年度比1億6,285万円(4.1%)の増となりました。

## 市債残高・基金現在高の推移

※普通会計



ピーク時

※普通会計とは、会計の組み方が自治体ごとに異なるため、統計的に財政比較が可能な仮の会計として用いられるものです。

## 特別会計歳入歳出の状況

会計名	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険費	47億 3,840万円	45億 2,633万円
駐車場費	2,787万円	1億 7,417万円
下水道事業費	26億 5,594万円	26億 5,400万円
高齢者住宅整備資金貸付事業費	138万円	60万円
介護保険費	37億 5,852万円	36億 8,803万円
土地区画整理費	1億 2,808万円	5億 492万円
市場事業費	6,783万円	5,913万円
後期高齢者医療費	3億 9,346万円	3億 9,260万円

## 歳出

### 農林水産業費

2億 3,920万円 (1.4%)  
農業、林業、水産業の振興などに関する経費

### 議会費

1億 8,039万円 (1.1%)  
議会の運営に関する経費

### 労働費

1,372万円 (0.1%)  
雇用対策などに関する経費

### 消防費

5億 655万円 (3.0%)  
消防に関する経費

### 衛生費

11億 2,235万円 (6.6%)  
健康診断、ごみ処理などに関する経費

### 教育費

13億 8,909万円 (8.2%)  
小・中学校や学校給食センター、幼稚園、図書館、公民館、体育施設などに関する経費

### 公債費

14億 4,904万円 (8.6%)  
市が借り入れた市債（借金）などの返済に関する経費

### 商工費

14億 7,519万円 (8.7%)  
各種資金融資、観光振興などに関する経費

### 民生費

55億 1,303万円 (32.5%)  
障がい者、高齢者、子育てなど福祉に関する経費

## 一般会計歳出

169億 3,556万円

### 総務費

28億 4,113万円 (16.8%)  
課税徴収、市民窓口などに関する経費

### 土木費

22億 587万円 (13.0%)  
道路、公園の整備や維持管理、市営住宅の管理などに関する経費

区分	29年度決算額	28年度決算額	伸び率
民生費	55億 1,303万円	55億 7,827万円	▲ 1.2%
総務費	28億 4,113万円	22億 306万円	29.0%
土木費	22億 587万円	15億 5,948万円	41.4%
商工費	14億 7,519万円	15億 1,183万円	▲ 2.4%
公債費	14億 4,904万円	14億 5,877万円	▲ 0.7%
教育費	13億 8,909万円	18億 1,474万円	▲ 23.5%
衛生費	11億 2,235万円	11億 6,800万円	▲ 3.9%
消防費	5億 655万円	5億 912万円	▲ 0.5%
農林水産業費	2億 3,920万円	2億 889万円	14.5%
議会費	1億 8,039万円	1億 7,682万円	2.0%
労働費	1,372万円	1,294万円	6.0%
合計	169億 3,556万円	162億 192万円	4.5%

## 一般会計歳出の状況

歳出総額は169億 3,556万円  
で、前年度より7億 3,364万円  
(4.5%)の増となりました。

主な特徴として、ふるさと納税PR事業の増等により総務費が前年比6億 3,807千円(29.0%)の増となったほか、水木しげるロードリニューアル事業の工事本格化等により土木費が6億 4,639万円(41.4%)の増となった一方で、市民体育館耐震改修事業の終了等により教育費が4億 2,565万円(23.5%)の減となっています。